

講義名称	女性と宗教	担当教員名	山本 有紀
科目群	人文学 (HUM)		
科目区分等	キリスト教	単 位	2
対象学年次	1年・秋学期	ナンバリング	HUM113

授業のキーワード	聖書を「物語」として読む・女性とキリスト教信仰・生き方の多様性
授業の概要	聖書の物語に登場する女性たちの姿を文学の手法で掘り下げながら、今日の社会の女性をめぐる課題の幾つかについて、キリスト教の視点から考えます。適宜、文学作品、映像作品なども補助教材として取り入れます。
期待される学習成果 (目標)	①聖書の物語に親しみ、その人間観、世界観に親しむことができます。 ②キリスト教のフェミニズムについて基本的な知識得、方法論を知ることができます。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	オリエンテーション	授業の進め方、各課題、評価の方法などを説明します。
2	エヴァ：人類最初の「女」	聖書の関係箇所を読み、聖書が描くその「人間像」を見ます。
3	サラとハガル：女主人と奴隷	聖書の関係箇所を読み、「家」制度と女性について考えます。
4	リベカ：双子の息子の母親	聖書の関係箇所を読み、「親」としての女性について考えます。
5	レアとラケル：姉妹、同じ男の妻	聖書の関係箇所を読み、家父長制と「神」について考えます。
6	ディナ：族長の一人娘	聖書の関係箇所を読み、女性に対する暴力と偏見について考えます。
7	ミリアム：「偉大なリーダー」の姉	聖書の関係箇所を読み、女性のリーダーシップについて考えます。
8	ルツ：外国人の嫁	聖書の関係箇所を読み、「神の祝福」や「救い」と女性の生き方の関連について考えます。
9	エステル：異国の女王	聖書の関係箇所を読み、「外国人差別問題」と女性の社会的位置について考えます。
10	マリア：「神の母」	聖書の関係箇所を読み、その「聖なる」存在について考えます。
11	ベタニアのマルタとマリア：イエスの弟子	聖書の関係箇所を読み、イエスの「弟子」として生きる女性の姿を見ます。
12	マグダラのマリア：聖書の記述と伝説と	聖書の関係箇所を読み、その「実像」に迫ります。
13	スカルの井戸端の女性	聖書の関係箇所を読み、女性が「自立して生きる」ことについて考えます。
14	イエスに香油を注いだ女性	聖書の関係箇所を読み、女性と経済の課題について考えます。
15	学期の学びとまとめ	期末課題に取り組みます。

定期試験	期末レポートを提出していただきます。
授業時間外学習	次週に扱う聖書箇所を事前に読む (週に1時間程度)
評価方法	①各授業の終わりに書くミニ感想文20% ②授業参加・貢献 (礼拝出席を含む) 20% ③期末課題 60%
使用する教科書 (必ず購入してください)	日本聖書協会 「新共同訳 聖書」 (旧約・新約合本)
参考文献	絹川久子 「ジェンダーの視点で読む聖書」 フェリス・トリプル 「フェミニスト視点による聖書読解入門」 エリザベス・シュスラー・フィオレンツァ編 「聖典の探索へーフェミニスト聖書注解」